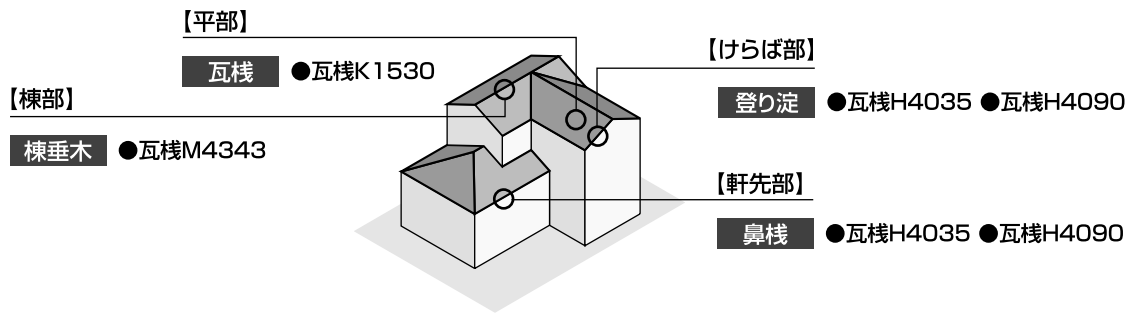


エコランバー瓦棧 粘土瓦屋根用



瓦棧

- 瓦棧K1530は、垂木のピッチ(455mm以下)に合わせて、リング釘(50mm以上)で端部より固定してください。
- 瓦棧K1530は、雨水が通る水抜き溝下部の防水シートに穴をあけないようにするため、水抜き溝上部の釘打ちNGマーク(×印)に釘を打たないでください。

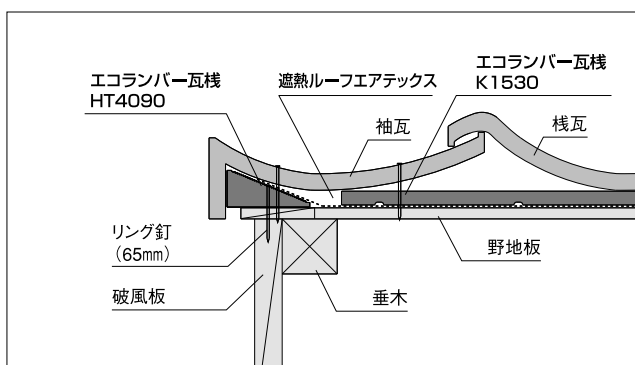
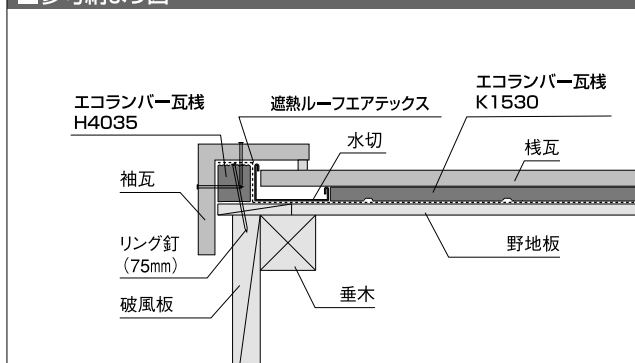
棟垂木

- 瓦棧M4343は、910mmピッチ以下で躯体に固定された棟金具に取付け、金具側面からスクリュー釘(32mm以上)で固定してください。
- 瓦棧M4343の端部は、必ず棟金具に取り付けてください。
- 棟芯には、なんばん・しっくい等の葺き土を入れてください。
- 棟瓦を施工する際は、パッキン付きビスを使用し、ビスの先端が瓦棧M4343の深さ20mm以上に達するように、ビス打ちしてください。

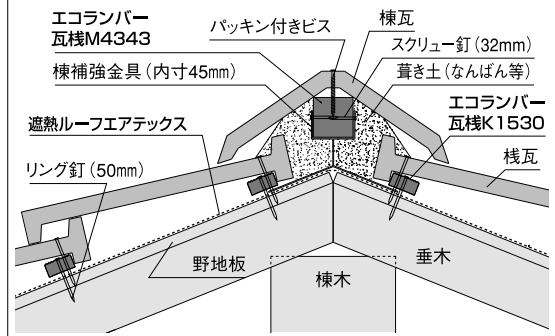
登り淀

- 瓦棧H4035は、リング釘(75mm以上)で@455mmピッチ以下となるように破風板に固定してください。
- 瓦棧HT4090はリング釘(65mm以上)で@455mmピッチ以下となるように破風板に固定してください。
- 端部より10mmの位置に必ず釘を打ってください。10mm以内に打った場合、瓦棧H4035・瓦棧HT4090が破損することがあります。
- 袖瓦を瓦棧H4035に施工する際は、釘の先端が瓦棧H4035の深さ30mm以上に達するように、袖瓦の側面から2箇所、上面から1箇所釘打ちしてください。

■参考納まり図



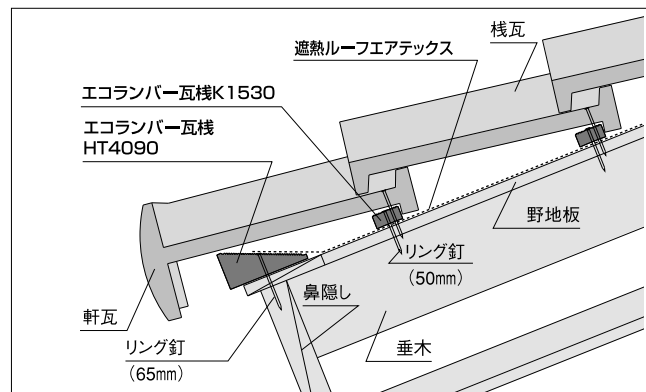
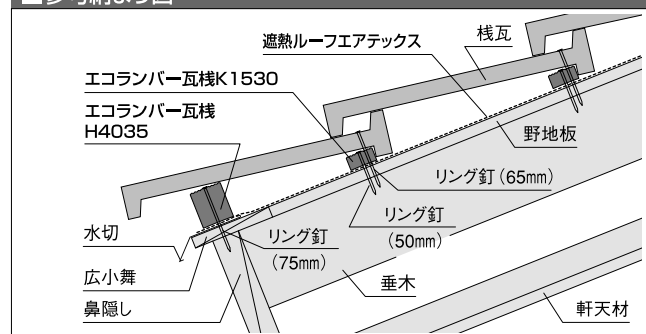
■参考納まり図



鼻棧

- 瓦棧H4035は、リング釘(75mm以上)で@455mmピッチ以下となるように鼻隠しに固定してください。
- 瓦棧HT4090は、リング釘(65mm以上)で@455mmピッチ以下となるように鼻隠しに固定してください。
- 端部より10mmの位置に必ず釘を打ってください。10mm以内に打った場合、部材本体が破損することがあります。
- 瓦棧H4035は、雨水が通る水抜き溝下部の防水シートに穴をあけないようにするため、水抜き溝上部の釘打ちNGマーク(×印)に釘を打たないでください。
- 瓦を施工する際は、瓦1枚に対し1本以上の釘を打ってください。

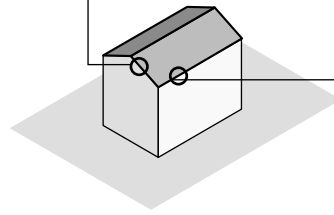
■参考納まり図



エコランバー瓦棧 粘土瓦屋根用

【けらば部】

登り淀 ●瓦棧H4028 ●瓦棧HT40100



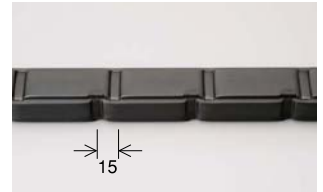
【軒先部】

鼻棧 ●瓦棧H4028 ●瓦棧HT40100

エコランバー瓦棧 H4028

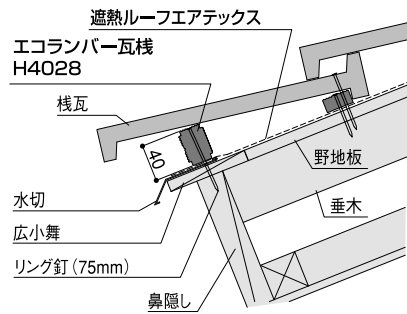
- 瓦棧H4028は、リング釘(75mm以上)で@455mmピッチ以下となるように破風板(鼻隠し)に固定してください。
- 端部より10mmの位置に必ず釘を打ってください。10mm以内に打った場合、部材本体が破損することがあります。
- 雨水が通る水抜き溝下部の防水シートに穴をあけないようにするため、水抜き溝上部に釘を打たないでください。(防水シートとの接面にある水抜き溝位置は、もう一方の面にある水抜き溝位置を目安にして確認してください。)
- 瓦を施工する際は、瓦1枚に対し1本以上の釘を打ってください。

●水抜き溝の確認



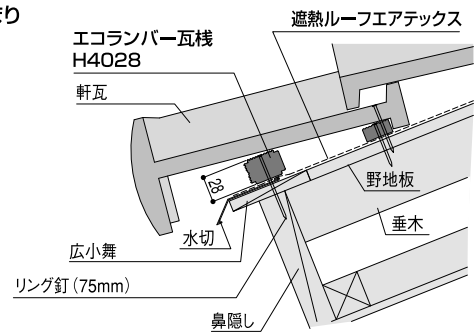
■参考納まり図

●平板 納まり



■参考納まり図

●和形 納まり



エコランバー瓦棧 HT40100

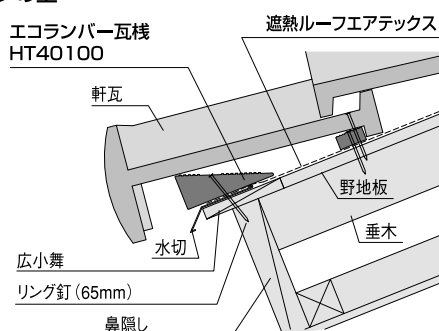
- 瓦棧HT40100は、リング釘(65mm以上)で@455mmピッチ以下となるように破風板(鼻隠し)に固定してください。
- 端部より10mmの位置に必ず釘を打ってください。10mm以内に打った場合、部材本体が破損することがあります。
- ルーフィングがHT40100の下になる納まりの場合、雨水が通る水抜き溝下部の防水シートに穴をあけないようにするため、水抜き溝上部に釘を打たないでください。(表面から見て、水抜き溝位置がわかります。)
- 瓦を施工する際は、瓦1枚に対し1本以上の釘を打ってください。
- 水抜き溝部にはケガ防止のための面取りを施しておりますが、取扱いには十分ご注意ください。
- 表面の滑り止め凹凸は、安全を保証するものではありませんので、足をかける場合は十分ご注意ください。

●水抜き溝の確認



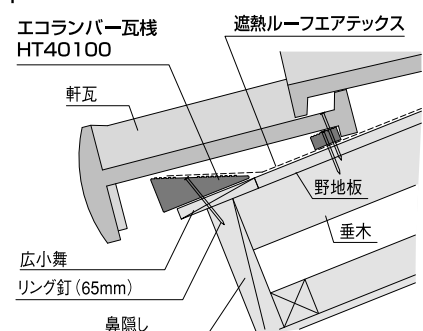
■参考納まり図

●ルーフィングの上



■参考納まり図

●ルーフィングの下



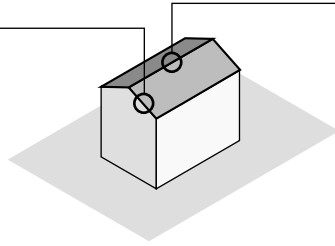
エコランバー瓦棧 化粧スレート屋根用

【けらば部】

登り淀 ●瓦棧N1845

【棟部】

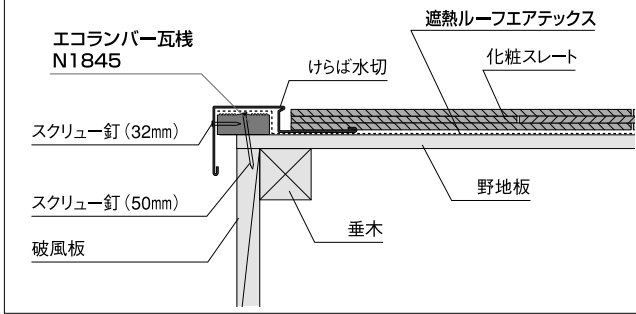
棟笠木 ●瓦棧M1890



登り淀

- 瓦棧N1845は、スクリュー釘（50mm以上）で、@455mmピッチ以下となるように破風板に固定してください。
- けらば水切を施工する際は、スクリュー釘（32mm以上）で@455mmピッチ以下となるように固定してください。
- 端部より10mmの位置に必ず釘を打ってください。10mm以内に打った場合、破損することがあります。

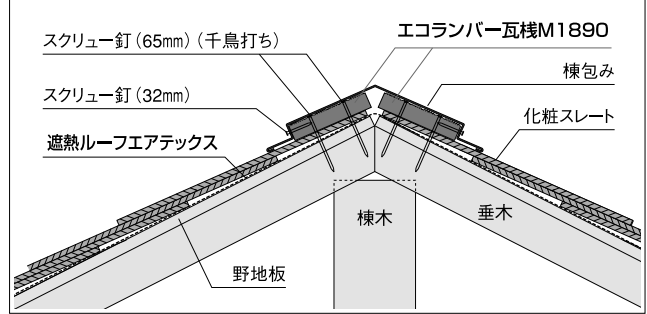
参考納まり図



棟笠木

- 瓦棧M1890は、垂木のピッチ（455mm以下）に合わせて、スクリュー釘（65mm以上）で千鳥打ち固定してください。
- 棟包みを施工する際は、スクリュー釘（32mm以上）で@455mmピッチ以下となるように固定してください。
- 端部より10mmの位置に必ず釘を打ってください。10mm以内に打った場合、破損することがあります。

参考納まり図



製品図

用途 使用部位	粘土瓦屋根用	
瓦棧 瓦棧K1530 (水抜き溝付き・滑り止め加工付き)		
瓦棧 瓦棧H4035 (水抜き溝付き・滑り止め加工付き)		
瓦棧 瓦棧H4028 (水抜き溝付き・滑り止め加工付き)		
瓦棧 瓦棧M4343		
用途 使用部位	化粧スレート屋根用	
登り淀 瓦棧N1845 (滑り止め加工付き)		
棟笠木 瓦棧M1890 (滑り止め加工付き)		